



# JPBA WOMEN'S ALL★STAR GAME2020

2月1～2日 / 北小金ボウル

## 坂本かやが女王・姫路麗にリベンジ

### 20歳初戦でレギュラータイトル奪取

いきなりの24名による総当たりラウンドロビンという競技方法でも話題を呼んだ、昨年誕生の本大会が、今年もJPBAの開幕戦となった。優勝決定戦は、ぶっちぎりのトップシードを決めた坂本かや(49期・永山コパボウル)と、ディフェンディングチャンピオンの姫路麗(33期・フタバボウル)の、昨年の全日本女子プロ選手権に続く2戦連続の顔合わせとなったが、そのとき苦杯をなめた坂本が見事にリベンジを果たし、2018年の新人戦に続く2勝目を挙げた。(主催:北小金ボウル)



▲初のレギュラータイトル獲得の坂本、「昨年の終盤も調子がよかったけど、大事なところで決めきれなかった。やっと勝てました」



▲破壊力抜群のボールで、今年は主役の座を狙う

リストライ等の補助器具の使用が禁止になる初戦ということでも注目された今大会だが、もともとと素手で投球を貫いてきた坂本かやが、第3ラウンド途中からはひとり旅でトップシードを獲得した。初日の前半をトップで折り返した本間由佳梨が、順位を一つ落としたものの2位、一時は圏外に後退しかけた姫路麗がラス前の289で3位の座を確保、全体1位の17勝を挙げた丹羽由香梨が4位、そしてポジションマッチで258を打った寺下智香が、5番目の座に滑り込んだ。

路が、7フレから2つめのターキーで236:196と突き放した。



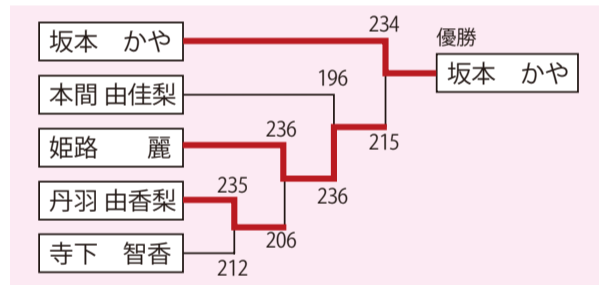
▲4位決定戦の9フレは、悩んで立ち位置を変えた自分のミス。でも決勝進出が目標だったので満足しと丹羽



▲素手での初戦にも「いけますね、今年も」と手ごたえ十分の姫路



▲今年も予選は24名による総当たり戦で行われたが、チケットはソールドアウトだった



#### ●優勝決定戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
坂本 かや	9	16	24	44	64	84	114	144	174	204	234
姫路 麗	8	20	50	79	99	118	138	167	187	206	215

ウェーで234:215と逆転、1月17日に20歳を迎えた最初の試合で、念願のレギュラータイトルを手にした。

#### 優勝・坂本かやのコメント

### 「2020は坂本かやの年に…」

ラウンドロビンでも負けていたし、姫路プロに勝たないと優勝はないと思っていた。全日本のときは、食らいつくこともできなかった。絶対に諦めないで頑張ろうと思った。途中で右レーンが遅くて、左レーンは内側のオイルがすごく高く感じて、立ち位置だけ調整した。そして大事な場面で力が入ってピンを残す経験を何度もしていたので、とにかく柔らかく投げることだけを意識した。10フレは投げる前と投げ終わったあとは、ひざから崩れ落ちそうになるくらいガクガクと震えていたけど、投球はしっかりと投げられた。姫路プロに勝ってのレギュラー

初優勝だから、それが何よりうれしい。10代のうちにレギュラーツアーで優勝、というのを目標にずっとやっていたので、20歳になったからどうこうという気持ちはなかった。また今シーズンから補助器具の使用禁止などのルール変更についても、いろんな人からいろんな声をかけられたけど、私自身は、みんなプロだから練習をして、開幕に合わせてくると思っていた。始めたころから曲げるボウリングを目指してきたし、斉藤志乃ぶプロも、「今のボウリングでちゃんと結果を残してほしい」と言ってくれているので、



これからもこだわっていきたい。勝ち負けだけでなく、坂本のボウリングを見たいと思ってもらえるようなプロになりたい。今は本当にボウリングが楽しい。ここで気を緩めずに、もっといっぱい練習をして、今シーズンは、坂本かやの年だったねって言われるように頑張ります。(優勝ボール:EBONITEゲームプレイヤー3ブラック/ブルー)



▲「リストライを外してこの1ヵ月投げ込んできた。完成度は4割くらいだけど練習は裏切らないと思った」と寺下

昨季の最終戦・全日本選手権と同じ対戦となった優勝決定戦は、「練習ボールでもつかめていなくて、手探りの投球だった」坂本が、2フレにスプリットでオープンを作ると、姫路はすかさずターキーでリードを広げる。「負けるにしても、全日本のときよりも成長した姿を見せたかった」と坂本が、6フレのストライクをターキーへつなげると、9、10フレとストライクがこなかった姫路を、オール

#### TV決勝

5位決定戦は、ほぼ互角で迎えた10フレ勝負、④⑥⑦と割れた寺下を、パンチアウトの丹羽が235:212で下して勝ち上がった。

4位決定戦は、後半ストライクのつながらなくなった丹羽を、前半2マークのビハインドの姫路が、7フレからのオールウェーで236:206と退けた。

3位決定戦は、3フレのスプリットでつまずいた本間を、3フレからターキーでリードの姫



▲開幕戦で3位はうれしい結果。優勝も視野に頑張りたいと本間